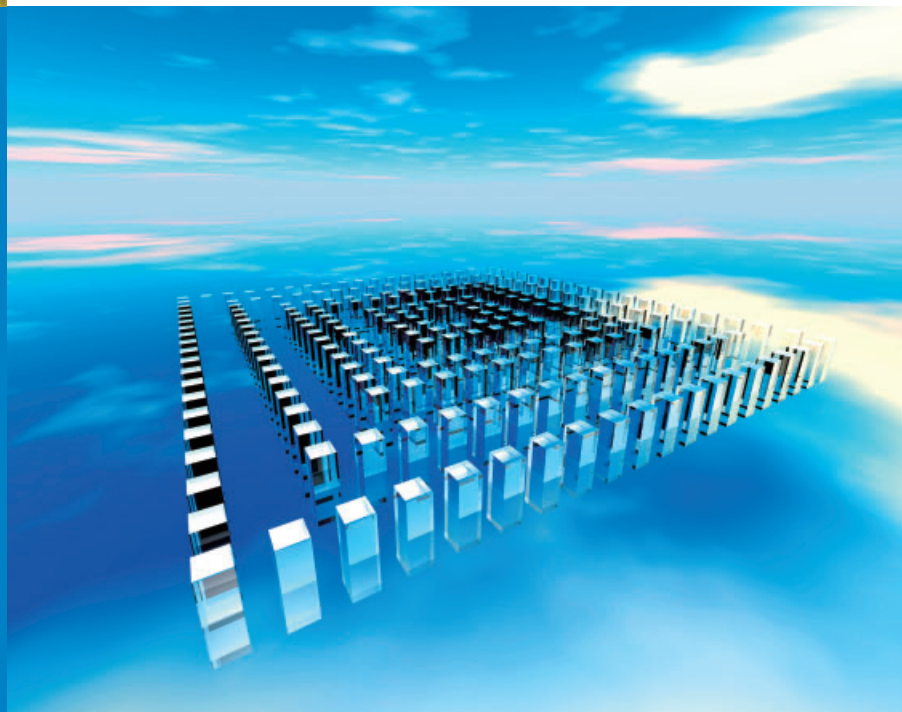




# 第64期 中間報告書

平成19年4月1日～平成19年9月30日

## The Business Report



**黒田精工株式会社**

証券コード：7726

## ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社第64期中間期（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年12月



代表取締役社長 前田哲也

## 当中間連結会計期間の概況

平成19年春から広がった米国金融市場でのサブプライムローン問題は世界経済に深刻な影響を及ぼしておりますが、当中間連結会計期間のわが国経済は、第1四半期では設備投資の落ち込みが影響し国内総生産（GDP）は前年同期比0.3%の減少（年率1.2%減）を示しました。その後は持ち直しを見せておりますが、個人所得税減税の廃止による消費の伸び悩みや原油高による原材料高騰により、経済は未だ力強い足取りとは言い難い状況が続いております。

こうした経済環境下、当社グループの主要顧客業種の稼働状況や景況は前年同期に比べまして業種によりまだら模様ですが、全体的にはやや力強さに欠けた動きとなっております。半導体製造装置等のIT関連業界では設備投資が調整局面を迎えており、その影響を受けボールねじの売上は前年同期比減少となりました。また、自動車関連業界も国内の市場低迷を受けて国内の生産活動が伸びを見せず、ツーリングの販売も前年同期比減少となりました。一方、半導体ウェハの大型化（300mm）や液晶TVの伸長に伴い超精密表面形状測定装置（当社商品名：ナノメトロ300TT）は前年同期の数字を上回る売上を達成いたしました。また、海外市場からの引き合いが好調であった工作機械業界は引き続き順調な足取りを見せております。

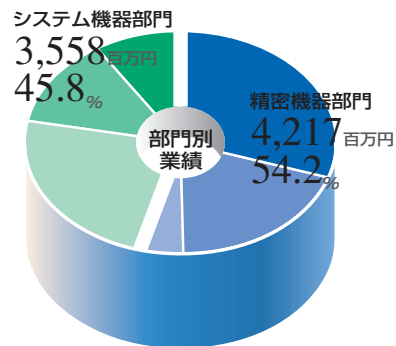
当中間連結会計期間の受注高は7,395百万円（前年同期比△1,171百万円、13.7%減）、売上高は7,776百万円（前年同期比△796百万円、9.3%減）となり、利益面においては、利益率が高い精密機器部門の売上の減少による影響もあり、経常利益は467百万円（前年同期比△347百万円、42.6%減）、中間純利益は264百万円（前年同期比△246百万円、48.3%減）となりました。

## 通期の見通し

来年8月の北京五輪に向けて中国経済の力強い成長に伴い、家電・情報関係業界への波及需要が期待されます。一方、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融問題は金融機関への影響、延いては実体経済への影響が懸念されます。また、原油価格の急騰が、今後原材料価格や運送費等のサービス価格の上昇に結びつく可能性がでており、先行き不透明な情勢であります。

当社グループの業績は、主要顧客業界であるIT関連業界・自動車関連業界の動向に左右される面がありますが、現在の受注・売上状況から今後の動向を予想しますと、下期後半には設備投資が回復基調となり、受注・売上も増加が期待されます。また、下期利益は原材料コスト・人件費の上昇、減価償却費の会計方針の変更もあり、厳しい状況が予想されますが、上期実績が当初予想を上回ったこともあり、通期の連結業績につきましては期初予想通り、売上高16,500百万円、経常利益1,110百万円、当期純利益620百万円と予想しております。

部門別売上構成比



## 精密機器部門

### ボールねじ

前連結会計年度後半からメモリーの価格下落や在庫調整により低迷した半導体業界の影響を受け、当中間連結会計期間の売上は2,338百万円(前年同期比16.2%減)となりました。同業界については、年内は調整が続き、年明け以降に回復すると予想されております。



売上高	<b>2,338</b> 百万円
前年同期比	<b>16.2%減</b>

### 空気圧機器

当社経由で販売しております空気圧機器のお客様に関しては、持分法適用関連会社クロダニューマティクス株式会社の直接取引へと変更を進めさせていただいております。この結果、売上高353百万円(前年同期比57.9%減)となりました。

売上高	<b>353</b> 百万円
前年同期比	<b>57.9%減</b>

### ツーリング・ゲージ

ツーリング製品の主要顧客である工作機械業界は旺盛な外需で活況を呈したものの、国内における当社の顧客である自動車関連業界や金型業界の設備投資低迷が大きく影響し、ツーリング製品の売上高は低調に終わりました。一方、ゲージ製品については、原油価格の急騰による油井掘削需要増を背景に油井管用APIねじゲージの受注が順調に推移しました。この結果、ツーリング・ゲージ製品の売上高は1,525百万円(前年同期比3.1%減)となりました。

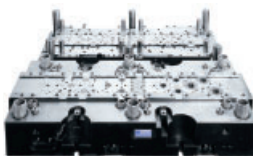


売上高	<b>1,525</b> 百万円
前年同期比	<b>3.1%減</b>

## システム機器部門

### プレス型

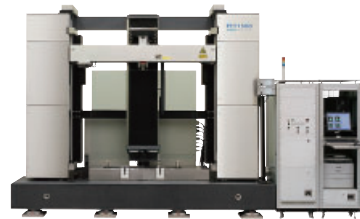
金属プレス製品の海外生産は引き続き増える傾向を示しておりますが、国内では製作上難易度の高いハイエンド製品を中心に売上を確保しました。主力製品の積層精密プレス型(当社商品名:FASTEC型)については、高い受注残に支えられ売上はほぼ想定どおりでした。ハイブリッド自動車搭載モーター用コア型については受注が増加傾向にありますが、家電製品向け金型を中心に受注にかげりがでており、全体的にやや需給関係に緩みがでてまいりました。この結果、プレス型製品の売上高は1,860百万円(前年同期比0.6%増)となりました。



売上高	<b>1,860</b> 百万円
前年同期比	<b>0.6%増</b>

### 精密測定装置他

300mmウェハ製造メーカー向け超精密表面形状測定装置(当社商品名:ナノメトロ300TT)は顧客先の活発な設備投資継続に伴い、好調に受注・売上を伸ばしております。また、液晶フォトマスク用大型平坦度測定装置(当社商品名:ナノメトロFTT1500)の売上も堅調に推移しました。この結果、精密測定装置他製品の売上高は698百万円(前年同期比6.6%増)となりました。



売上高	<b>698</b> 百万円
前年同期比	<b>6.6%増</b>

### 工作機械

平成18年11月から発売開始しました新機種の精密成形平面研削盤「新世代職人」GS-45シリーズは高精度精密加工市場の拡大に伴い、着実に成約しており、高剛性のGS-PFシリーズ共々当上期も順調に売上を伸ばしました。また、超精密鏡面研磨装置(当社商品名:スーパーポリシングマシンFKP)も、カメラ、携帯用レンズ等の金型磨き用途向けに、売上を伸ばしました。この結果、工作機械製品の売上高は999百万円(前年同期比15.8%増)となりました。

売上高	<b>999</b> 百万円
前年同期比	<b>15.8%増</b>

# 中間連結財務諸表

## 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当中間期 平成19年9月30日現在	前中間期 平成18年9月30日現在	前期 平成19年3月31日現在
<b>資産の部</b>			
流動資産	10,782	11,198	10,095
固定資産	11,371	10,091	11,448
有形固定資産	8,014	6,554	7,903
無形固定資産	137	104	132
投資その他の資産	3,219	3,432	3,412
資産合計	22,153	21,289	21,543
<b>負債の部</b>			
流動負債	7,700	8,470	8,679
固定負債	5,685	4,473	4,060
負債合計	13,385	12,943	12,740

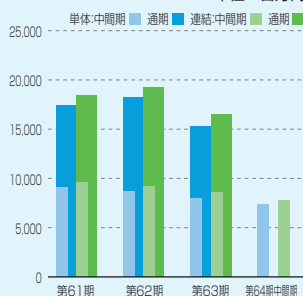
科目	当中間期 平成19年9月30日現在	前中間期 平成18年9月30日現在	前期 平成19年3月31日現在
<b>純資産の部</b>			
株主資本	6,417	5,867	6,293
資本金	1,875	1,875	1,875
資本剰余金	1,451	1,451	1,451
利益剰余金	3,096	2,545	2,972
自己株式	△5	△4	△4
評価・換算差額等	2,227	2,379	2,387
土地再評価差額金	1,337	1,337	1,337
その他有価証券評価差額金	863	1,059	1,047
為替換算調整勘定	26	△17	2
少数株主持分	124	99	121
純資産合計	8,768	8,346	8,803
負債・純資産合計	22,153	21,289	21,543

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## 決算ハイライト

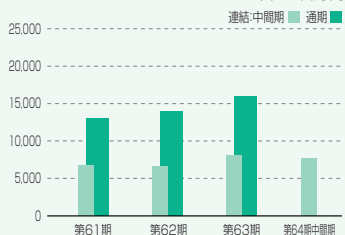
### 売上高

単位：百万円



### うち継続事業ベースの売上高

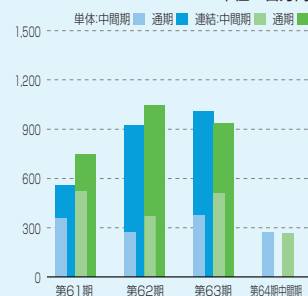
単位：百万円



当社経由で販売しております空気圧機器のお客様には、持分法適用関連会社クロダニューマティクス株式会社の直接取引への変更を進めておりますので、継続事業ベースでの売上高を明示しました。

### 中間(当期)純利益

単位：百万円



## ■ 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	平成19年4月1日～ 平成19年9月30日	平成18年4月1日～ 平成18年9月30日	平成18年4月1日～ 平成18年3月31日
売 上 高	7,776	8,573	16,626
売 上 原 価	5,908	6,404	12,307
売 上 総 利 益	1,867	2,168	4,318
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,476	1,459	3,011
営 業 利 益	391	709	1,307
営 業 外 収 益	202	201	389
営 業 外 費 用	126	95	204
経 常 利 益	467	815	1,492
特 別 利 益	—	34	69
特 別 損 失	4	14	24
税金等調整前中間(当期)純利益	463	835	1,537
法人税、住民税及び事業税	202	322	547
法人税等調整額	△2	△4	24
少数株主利益	0	7	26
中間(当期)純利益	264	511	937

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## ■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	平成19年4月1日～ 平成19年9月30日	平成18年4月1日～ 平成18年9月30日	平成18年4月1日～ 平成18年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△49	△131	850
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,287	△211	△711
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,447	△711	△1,494
現金及び現金同等物に係る換算差額	26	△2	21
現金及び現金同等物の増減額	136	△1,056	△1,334
現金及び現金同等物の期首残高	3,267	4,601	4,601
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	3,404	3,545	3,267

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## ■ 中間連結株主資本等変動計算書(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

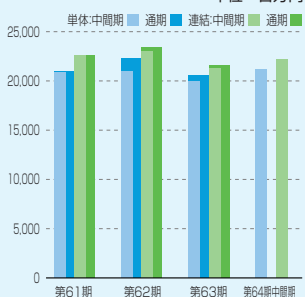
(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等合計	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成19年3月31日残高	1,875	1,451	2,972	△4	6,293	2,387	121	8,803
中間連結会計期間中の変動額								
剰余金の配当			△140		△140			△140
中間純利益			264		264			264
自己株式の取得				△0	△0			△0
株主資本以外の項目の 中間連結会計期間中の変動額(純額)						△160	2	△158
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	123	△0	123	△160	2	△34
平成19年9月30日残高	1,875	1,451	3,096	△5	6,417	2,227	124	8,768

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

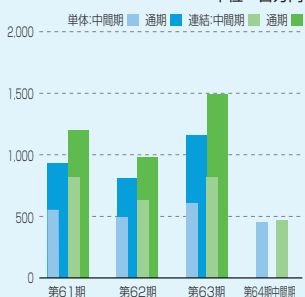
### ■ 総資産

単位:百万円



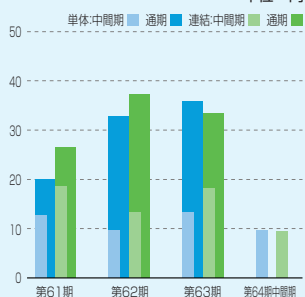
### ■ 経常利益

単位:百万円



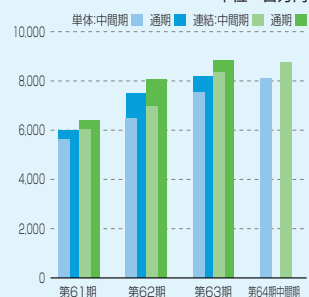
### ■ 1株当たり中間(当期)純利益

単位:円



### ■ 純資産

単位:百万円



# 中間単体財務諸表

## 中間貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	平成19年9月30日現在	平成18年9月30日現在	平成19年3月31日現在
<b>資産の部</b>			
流動資産	10,089	10,125	9,431
現金・預金	3,076	2,806	2,982
受取手形・売掛金	3,937	4,219	3,317
有価証券	—	299	—
棚卸資産	2,720	2,426	2,747
その他	354	372	383
固定資産	11,048	9,828	11,110
有形固定資産	7,481	5,990	7,389
無形固定資産	133	103	130
投資その他の資産	3,433	3,734	3,590
資産合計	21,138	19,953	20,542
<b>負債の部</b>			
流動負債	7,500	8,137	8,482
支払手形・買掛金	3,221	3,926	3,343
短期借入金	2,896	3,097	2,942
その他	1,381	1,113	2,195
固定負債	5,526	4,268	3,894
長期借入金	2,426	1,123	764
退職給付引当金	1,906	1,876	1,933
その他	1,193	1,269	1,196
負債合計	13,026	12,406	12,377
<b>純資産の部</b>			
株主資本	5,911	5,150	5,780
資本金	1,875	1,875	1,875
資本剰余金	1,451	1,451	1,451
利益剰余金	2,590	1,828	2,458
自己株式	△5	△4	△4
評価・換算差額等	2,200	2,396	2,384
土地再評価差額金	1,337	1,337	1,337
その他有価証券評価差額金	863	1,059	1,047
純資産合計	8,111	7,546	8,164
負債・純資産合計	21,138	19,953	20,542

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## 中間損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	平成19年4月1日～平成19年9月30日	平成18年4月1日～平成18年9月30日	平成18年4月1日～平成19年3月31日
売上高	7,355	7,932	15,319
売上原価	5,646	6,225	11,913
売上総利益	1,708	1,706	3,405
販売費・一般管理費	1,359	1,170	2,389
営業利益	348	535	1,016
営業外収益	216	156	334
営業外費用	113	85	195
経常利益	450	607	1,154
特別利益	22	36	356
特別損失	4	14	24
税引前中間(当期)純利益	468	629	1,486
法人税、住民税及び事業税	191	256	447
法人税等調整額	5	△3	33
中間(当期)純利益	271	375	1,006

(注)記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。



# 会社の概況 (平成19年9月30日現在)

## ■ 会社の概要

商号 黒田精工株式会社  
 本店 神奈川県川崎市幸区下平間239番地  
 創業 1925年(大正14年)  
 資本金 18億75百万円  
 従業員数 515名

## ■ 連結対象会社の状況

連結子会社 クロダイインターナショナル株式会社  
 クロダプレジジョンインダストリーズ(M)(マレーシア)  
 平湖黒田精工有限公司(中国)  
 永昇電子株式会社  
 持分法適用関連会社 株式会社ゲーシング  
 日本金型産業株式会社  
 株式会社モールド研究所  
 クロダニューマティクス株式会社  
 株式会社TGK

## ■ 当社グループの主要な事業

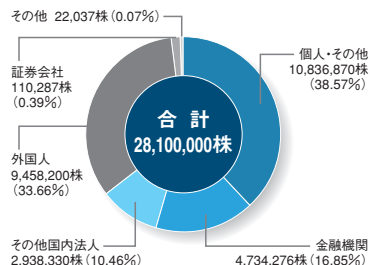
部門	製品グループ	主要製品
精密機器	ボールねじ	精密研削ボールねじ、転造ボールねじ、ボールねじアクチュエータ、XYステージ
	ツーリング・ゲージ	MCツーリング、専用ツーリング、ハイドロリックツール、微量潤滑油供給装置(当社商品名:エコセーバ)、その他各種保持工具、油井管用ねじゲージ、ねじゲージ、ブロックゲージ、一般ゲージ類
	空気圧機器	電磁弁、アクチュエータ、エアクリーン機器、省配線システム、各種補器類、コンプレッサ
システム機器	プレス型	積層精密プレス型(当社商品名:FASTEC型)、モータコア型、順送り用精密プレス型、精密金属プレス製品
	工作機械	平面研削盤(NC機を含む)、超精密鏡面研磨装置(当社商品名:スーパーポリシングマシンFKP)
	精密測定装置他	超精密表面形状測定装置(当社商品名:ナノメトロ300TT)、液晶フォトマスク用大型平坦度測定装置(当社商品名:ナノメトロFTT1500)、パルスエンコーダ、医療用機器

# 株式データ (平成19年9月30日現在)

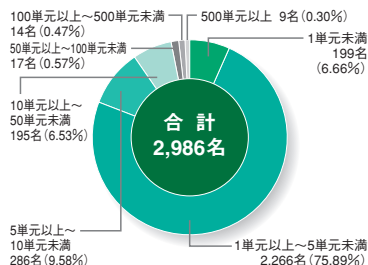
## ■ 株式の状況

発行可能株式総数…………… 74,800,000株  
 発行済株式の総数…………… 28,100,000株  
 株主数…………… 2,986名

## ■ 所有者別株式分布状況



## ■ 所有株式数別株主分布状況



## ■ 大株主

株主名	株式数(千株)	出資比率(%)
パーカー ハネフィン ユーケー株式会社	9,400	33.47
株式会社みずほ銀行	1,100	3.91
黒田精工取引先持株会	819	2.91
中央三井信託銀行株式会社	770	2.74
黒田 浩史	769	2.73
株式会社横浜銀行	748	2.66
株式会社損害保険ジャパン	660	2.35
ファイナ産業株式会社	500	1.78
朝日生命保険相互会社	500	1.78
日本生命保険相互会社	443	1.57

(注) 出資比率は自己株式(21,037株)を控除して計算しております。

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金支払株主確定日	3月31日
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会については3月31日その他必要がある時は、あらかじめ公告する一定の日。
公告方法	電子公告により、当社のホームページに掲載します。 <a href="http://www.kuroda-precision.co.jp/">http://www.kuroda-precision.co.jp/</a> ただし、やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

### お知らせ

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、下記株主名簿管理人中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

- フリーダイヤル 0120-87-2031 (24時間受付:自動音声案内)
- ホームページ [http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

## 黒田精工株式会社

本社/〒212-8560 神奈川県川崎市幸区下平間239番地  
TEL/044-555-3800(代表) FAX/044-555-3524  
<http://www.kuroda-precision.co.jp/>



古紙/バルブ配合率100%再生紙を使用し、大豆油を利用したソイ・インキを使用しています。